

たいし 議会 だより 176号



太子町出身

前田 大然 選手

U-24 サッカー日本代表
祝！東京 2020
オリンピック出場！

令和3年 6月定例会

◆定例会概要

◆8議員が**町政を問う**（一般質問）

◆議会のうごき

p1～p2

p3～p6

p7～p8

静岡県熱海市の集中豪雨でお亡くなりになられた方に心から哀悼の意を表します。また被災された方にお見舞い申し上げます。災害はいつどこで起こってもおかしくありません。町議会としても一層の防災対策に力を注いでまいります。

今回から『議会だより』が一新され、初の表紙を飾るのが、

前田大然選手です。オリンピックで暗い話題を吹き飛ばす活躍を期待しています。

住民のみなさんに町政を身近に感じてもらえる紙面づくりを進めて参ります。

太子町議会議員一同

発行／太子町議会 編集／議会広報特別委員会

©Y.F.M

新型コロナウイルス感染症対策は急務！

専決処分も含め

一般会計補正予算

(第2号～第5号) 可決

第2回定例会は、6月2日に招集され、17日までの16日間にわたって開かれました。

今定例会では、補正予算、条例改正、意見書などについて審議され、すべての議案を可決しました。

また、一般質問には、8人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。

【主な内容】

コロナ対策

☆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）	38万6千円
☆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）	1750万1千円
・児童一人当たり一律5万円（180世帯、300人見込み）	
☆大阪広域水道企業団水道料金減免負担金	2500万円
・10ヶ月分（6～3月）基本料金無料	
☆中学校修学旅行等キャンセル料支援事業費補助金	54万7千円
バス借上料	21万1千円
☆感染予防対策用備品購入費（空気清浄機）	151万0千円
☆庁舎トイレ改修事業（設計業務、工事）	1891万4千円
☆太子町版特別定額給付金	805万円
・新生児1人あたり10万円支給	
☆事業者支援激励金事業	280万円
・町で認定を受け府融資制度を利用し金融機関から融資を受けた事業者に事業継続のために10万円支給	
☆学校園給食費保護者負担金補助金	1529万円
・9～12月（2学期）の給食費無償	

その他

☆道の駅運営事業 猛暑対策（ミスト）設計・工事	970万8千円
☆「和みの広場前」バス停	
都市公園維持管理事業 猛暑対策（ミスト）設計・工事	1491万2千円
☆総合スポーツ公園維持管理事業 テニスコート等改修工事	1283万1千円

質 疑

問 庁舎トイレ改修工事の詳細は。

答 1階トイレは、床の乾式化・洋式化工事が既に完了。その他のトイレを感染症対策として1階と同様の改修と全てのトイレの手洗い水栓をセンサー式に改修予定。

問 山田放課後児童会の定員を超えての運営に伴う2階空き教室の使用はいつから実施するのか。待機児童は解消したのか。

答 早急に使用できるようにしたい。今年度当初に3名の待機児童が出ていたが、子育て支援の観点から可能な限り入会希望に沿えるよう努めた結果、6月1日から必要な支援員を確保できたため、待機児童はすでに

解消している。

問 3年度生まれの新生児に対する太子町版特別定額給付金は、4、5月生まれの新生児にも支給されるのか。

答 4月1日以降の新生児にも遡って適用される。

問 公共施設全体における空気清浄器の必要数及び購入数、購入方針は。

答 既に55台設置。今回は、庁舎4階の13台分で、議場や委員会室など常時使用しない部屋も含まれているが、使用しない期間は、会議室など他の部屋で有効活用したい。今回は交付金を活用して購入するが、今後、必要であれば一般財源での追加購入も検討する。

問 修学旅行の実施予定は。

答 中学校の修学旅行は9月に、淡路合宿については秋に延期予定で、小学校の修学旅行については、10月に実施予定。

問 府の補助金を活用し猛暑対策用として設置するミストは、どの程度の効果が期待できるのか。

答 周辺温度を2～5度下げることが想定されている。

問 猛暑対策工事でも、道の駅のバス停と和みの広場前のバス停では、かかる経費が大きく異なる理由は。

答 和みの広場前のバス停においては、藤棚の設置などと併せて予定しているため。

問 総合スポーツ公園のテニスコート等改修工事の詳細と時期は。

答 テニスコートの夜間投光器の老朽化に伴い、全16基をLED投光器に変更するものである。当初予算で計上している人工芝の張り替えと一括で発注する予定で、人工芝の製作期間2～3ヶ月を考慮し、10月には使用できるようにしたいと考えている。

問 総合スポーツ公園利用者の町内在住者の割合は。

答 31年のデータでは、町内在住者の利用が62.8%、町外在住者の利用が37.2%であり、また、テニスコートに限定すれば町内在住者の利用は70%を占める。

問 観光案内板の設置が事業者支援になる理由は。

答 観光案内板の設置は、コロナ収束後、速やかに観光事業が展開できるように情報発信の基盤整備として行うものである。

『加齢性難聴者への補聴器購入に対する 公的支援を求める意見書』 全会一致で可決

☆意見書の全文を掲載します。

我が国の総人口に占める65歳以上の割合は28%を超え、日本は超高齢社会を迎えている。そのような状況の中、加齢による難聴者、いわゆる加齢性難聴者が増加しており、高齢者の社会参加への障壁となっている。

加齢性難聴は、他者からの情報や想いを受け取ることが困難にし、コミュニケーションを取ることができず社会的に孤立させる原因となり、脳の機能の低下につながり、認知症やうつ病の原因になると考えられている。聴覚は重要な機能を果たしており、誰もが、いきいきと生活するための支えになっている。

加齢性難聴への対策として補聴器の使用が挙げられるが、難聴の状態は一人ひとり異なるため、補聴器を適切に、かつ、効果的に使用するためには補聴器相談医への受診、

補聴器の購入後も専門知識を持つ認定補聴器技能者との調整が必要である。また、補聴器の価格は片耳当たり概ね3万円から20万円と高額で、かつ、保険適用ではないため全額自費となることから助成が必要とされている。

よって政府及び国会に対し、高齢者が加齢性難聴になっても、生活の質を落とさず、心身共に健やかに社会参加するための補聴器購入に対する公的支援が必要であり、下記の事項を強く求める。

1. 補聴器相談医や認定補聴器技能者の育成支援を行うこと。
2. 補聴器を必要とする人が、適切な補聴器を購入し、継続して使用できる仕組みづくりと購入費用の助成を進めること。

☆太子町議会から内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣及び厚生労働大臣宛てに本意見書を送付しました。

●固定資産評価員

(3年7月1日から)

仲村 公良 氏

●人権擁護委員

(4年1月1日から。任期3年)

関戸 充代 氏

杉田 貴久子 氏



補正予算		
会計名	補正額	補正後の総額
3年度 一般会計 (第2号)	38万6千円	57億2460万円
3年度 一般会計 (第3号)	4325万9千円	57億6785万9千円
3年度 一般会計 (第4号)	1億931万3千円	58億7717万2千円
3年度 一般会計 (第5号)	104万5千円	58億7821万7千円
3年度 介護保険 (第1号)	209万円	13億8502万4千円

第2回定例会 審議結果一覧表

件 名	審議結果	斧田	建石	西田	藤井	辻本	辻本	山田	中村	森田	村井
		秀明	良明	いく子	千代美	ひろゆき	馨	強	直幸	忠彦	浩二
税条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算 (第2号) の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算 (第3号) の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
2年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
固定資産評価員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
手数料徴収条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算 (第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度介護保険特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 — 議長 ※可否同数の場合は、議長採決

【これって、どんな意味？】

「専決処分」とは？→議会の権限に属する事項について、町長が議会にかわって意思決定を行うことです。法律の規定による専決処分と議会の委任による専決処分の場合が法定されています。



太子町の財政状況について

大阪維新の会
建石 良明 議員

問 新型コロナウイルスの感染拡大による太子町財政への影響は。

3年3月に大阪府が公表した「町村の中長期財政シミュレーション」について、その試算の考え方や太子町の試算結果は。

答 2年度の市町村たばこ税は、前年度より約5800万円の減収見込み。3年度は個人・法人町民税へのマイナス影響、評価替えでの固定資産税減収も確実視され、厳しい状況。府では、市町村が将来にわたり住民サービスを維持・充実できるよう、財政基盤が脆弱な町村を対象に人口減少・高齢化などが長期的財政収支に与える影響を分析し、対応策として更なる広域連携や行財政改革など必要な取り組みの検討を行うことが目的。多くの町村で厳しい見通しで、本町も人口と連動し町税が減少する一方、社会保障関係費や物件費等が増加し、毎年の取り崩しで7年度には基金の枯渇が見込まれるなど、非常に厳しい内容が示されている。

問 今後の財政運営にあたって、こういった取り組みをしていくのか。

答 町でも府とほぼ同様の見通しで、行財政改革への取り組みの加速化が必要。赤字体質とも言える状況の町財政を立て直し、将来にわたって持続可能な行政サービスを提供できる見通しを示すことが我々の責務。

よりきめ細かな削減目標を立て、次年度以降の予算編成においても歳出予算の見直しを継続。行政プランについて、財政シミュレーションをしっかりと行った上で、事業評価等での既存事業の統廃合による歳出抑制や、使用料及び手数料の見直し、ふるさと納税事業の取組強化、企業誘致等による自主財源確保など、収支改善策を反映させた内容となるよう今年度中に策定。

しかしながら、ただ削減だけではなく、必要な施策についてはしっかりと推進していく。町の財政状況や行財政改革の取り組みは、住民の皆様にも、わかりやすくしっかりとお伝えすることが重要であり、ホームページや広報紙での「見える化」を進めていく。

持続可能で安定した財政運営の実現に向け、職員と一丸となって取り組んでいく。



新しくなった広報紙



コロナワクチン接種について

自民党
辻本 馨 議員

問 現在も医療現場において懸命に努力されておられる医療従事者、関係者の全ての皆様に感謝の誠を奉げたいと思う。国や自治体は、この難局に立ち向かう千軍万馬の勇士に特別のご厚情を賜らん事を願うものである。5月7日から受付が始まった高齢者ワクチン接種は受付開始から3日程は、電話がかかりにくくなかなか予約が取れないといった事も聞いていたが、その後は、順調に予約も入っているようで安心しているが、直近での予約人数は。また町内の高齢者施設に入居されている方の接種はどの様になっているのか。ワクチン接種の状況などについて尋ねる。

答 本町のコロナワクチン接種は、現在64才以上の高齢者に対して、富田林医師会管内の富田林市、河南町、千早赤阪村、本町の4市町村合同で集団接種を行っている。現在86.7%の方の予約がある。また1回目を接種した後、2回目の予約を取ってもらっているが、それも1回目を接種した方の95%の方が予約している。本町では6月7日現在で、

1461人の方が接種を受けた。6月6日からは2回目の接種も始まり、国が示す7月末までには、予約した全ての方が接種できることになる。高齢者施設の接種も平行して行っており、現在町内外の施設に入居されている本町住民のほぼ全ての方が1回目接種。70%の方は2回目も接種しており、6月中旬には2回目の接種が完了する運びになっている。

問 64才以下の接種は、どのように進めていくのか。

答 今後基礎疾患のある方や64才以下の年代は、お勤めされている方も多数であることから接種時間の工夫が必要と思われる。平日の夜等の時間帯で受けてもらえるよう、医師会とも相談し、検討していきたい。大阪市内での大規模接種会場や、職域での接種も想定されることから、接種券は6月中旬頃には皆様には届けたいと考えている。





新型コロナウイルス感染症対策について

しなが会
斧田 秀明 議員

問 新型コロナウイルス感染症に対する太子町の取り組みの成果や課題、そして今後の方策について問う。

答 町の2年度の取り組みは、国の特別定額給付金等の事業が庁内各部署の応援体制を構築し早期の給付が実現できた。町独自に国の支援策の対象とならない事業者や年齢層等に対し「太子町版持続化給付金」や「太子町版特別定額給付金」等、計42事業を「太子町支援パッケージ」として実施。3年度も国や府の内容を見極めながら「太子町版特別定額給付金」等を継続実施し、感染症が収束した後の新しい生活様式に対応した感染防止対策事業等の20事業を予定。ワクチン接種事業は、庁内に「プロジェクトチーム」を設置し、65歳以上の高齢者を対象に集団接種を富田林医師会協力のもと、4市町村合同で進めている。今後も、国・府の動向を注視し、職員一丸となり必要な施策を実施し、住民の命と生活を守るという最優先の役割をしっかりと果たす。

GIGAスクール構想について

問 GIGAスクールネットワーク構想のその後の取り組みの成果や課題、今後の方策について問う。

答 2年度末で本町の小中学校全学年で高速通信環境の整備、一人1台の端末機器の配備を完了。2年度中に府教育庁の研修を受けた各校のICT活用リーダーの「ICTワーキングチーム」を立ち上げた。タブレット端末を活用することで、アンケート結果などが瞬時に集計され、子どもたちの学びの理解度の検証が容易にできるようになった。国費負担のデジタル教科書活用の実証実験にも参加し、コロナ禍で実施困難な「理科の実験」等を動画等でわかりやすく学ぶことができた。通信環境と端末のハード整備は完了したが、活用面や追加整備の問題等、ハード・ソフト両面での課題や電子黒板やデジタル教科書導入の検討など、追加整備についても充実する必要がある、国・府の動向を注視し、太子町としての「GIGAスクールネットワーク構想」の推進に向け、計画的に取り組み、子どもたちの学びをサポートする。



磯長小学校のタブレット活用状況



向少路地区の寄贈を受けた土地の利用について

自民党
中村 直幸 議員

問 12月の森田議員からの一般質問に対して「将来的な土地の利活用につきましては、第5次総合計画や都市計画マスタープランの土地利用方針、各種法規制などとの整合性も考慮しつつ、議員の皆様や住民の皆様から広くご意見や、お知恵を募りながら議論を進め、土地利用の方向性を決めてまいりたい」と答弁があった。

この土地は、町の市街地の中心近くに位置している。防災拠点の要となる防災センターの建設、農業分野では、道の駅への転用や町の長年の特産品でもあるブドウ栽培において、生産者の後継者を育てるぶどう塾が大きな成果を上げており、複合的な観光拠点としての整備、国では、子ども庁の新設の話も出ていることから、子育て支援センターなどさまざまな用途への土地利用を考えることができるが、その後、土地利用に対する議論が進展しているような状況が見えない。改めて、今後の土地利用に対する検討状況、考えを具体的に答弁を。

答 現時点においては土地利用に関する検討組織を設置して、具体的な行動計画などをお示しできるまでには、至っていない状況にある。

具体的な問題点を可視化した後、どのような土地利用が可能かを、例えば、民間からの事業提案を求めるサウンディング型市場調査や、公民連携の可能性も視野にいれ検討を進めるとともに、議員や住民の皆様から広くご意見やお知恵を募りながら、太子町の未来を見据えた土地利用を進めて参りたいと考える。

要望 議会特別委員会を立ち上げてまとめることもできるが、向少路地区の土地は、公有地。寄贈していただいた方の思いだけでなく、住民の利便性の向上や地域の活性化、にぎわいの創出に寄与できるような土地利用を要望する。



面積（公簿）12,438㎡、3,769坪（令和2年撮影）



脱炭素社会の実現にむけて

自民党
森田 忠彦 議員

問 国は、2050年までの脱炭素社会の実現（2050年カーボンニュートラル）に向けた取り組みを進めている。

私は、本町においても、公共施設はもとより、住宅のほか、耕作放棄地、ため池の水面などあらゆる未利用地に、太陽光パネルが設置されるような取り組みを行うべきであると考えている。

本町所有施設の太陽光発電設備の設置状況と、国の施策を踏まえ本町として今後どのように対応しようと考えているのか。

答 太陽光発電設備を設置している本町所有施設は、町立総合福祉センター及び町立山田小学校の2施設で、現在建築中の（仮称）生涯学習施設についても設置予定である。

脱炭素社会に関連するその他の取り組みとして、庁舎の空調設備等の改修時に、光熱費削減及びCO₂削減が期待できるESCO事業を導入するとともに、町内にあるすべての道路照明灯・防犯灯等をLED照明に更新した。

第5次総合計画後期基本計画では、地域での活動が地球規模の環境問題の解決にもつながることを認識し、循環型社会の実現に向け、環境への負荷の軽減に向けた取り組みを行うこととしている。

今般、国から示された公共施設の新築における太陽光発電設備の設置の標準化をはじめ、荒廃農地への営農型太陽光施設の設置を促すための転用規制の見直し、また、「国・地方脱炭素実現会議」の地域脱炭素ロードマップなど、国の脱炭素社会への取組は、加速している状況にある。

本町においても、国の各種施策等を詳細に把握するとともに、再生可能エネルギー等の導入を推進し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めていく。



経済産業省 資源エネルギー庁 HP より抜粋



子どもの食育を支えるため学校給食費無償化を 日本共産党 藤井 千代美 議員

問 町長の選挙公約の「育ち盛りの食育を支えるため学校給食費の無償化へ」は、いつ実施するのか？

答 太子町では歴史と伝統に培われた教育の町として、「地域とともに育む学校教育の充実」を第5次総合計画にも位置づけ、様々な教育施策を行っている。

学校給食は、季節に応じた旬の食材や地元産のものをできるだけ積極的に献立に採り入れる地産地消の取り組み等も行い、伝統的な日本の食文化を受け継ぎ、望ましい食習慣を身につけることができるよう配慮した安全安心な学校給食の提供に努めるなど、教育施策全般にわたって精力的に取り組んできた。

住民の安全と安心を最優先にした政策の優先性を見極めながら、他団体での先行事例の情報収集を行い、公会計化に対する国の動向などにも注視しつつ、無償化の範囲や規模、内容等について、実現に向けて検討したい。

学校体育館にエアコンの設置を

問 新型コロナウイルス感染症収束の目途が立たない中、マスクは手放せないが、熱中症が懸念される。児童・生徒が安全に運動できるよう学校体育館に早急にエアコンの設置を。

答 『学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』等に基づいた対応をしている。集団生活を送る学校としては、「密閉」「密集」「密接」の3密対策を十分に講じることが重要とされており、マスクは手放せない状況となっているが、文科省は「体育の授業におけるマスクの着用は必要ない」と定義づけている。学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した学校運営を継続すると共に、熱中症対策については児童生徒の安全を基本とした配慮を徹底する。コロナ対策以前から、主に防災対策である避難所の環境改善の一環として、設置が推進されてきた背景があり、昨年度策定した『国土強靱化地域計画』で、学校体育館の空調設備の設置についての課題を記載した。先行整備事例の情報収集を行い、課題の検討を進めたい。



部活中。中学校体育館



新型コロナウイルス感染症対策について

日本共産党
西田 いく子 議員

問 親の生活が子どもの育ちにも影響する「子どもの貧困」が社会問題になっている。太子町の子ども達の暮らしは大丈夫なのか。困難を抱える子どもたちへの支援を。①ヤングケアラーと言われる子ども達の実態は。②「生理の貧困」で、生理用品が買えずに学校を休む子がいるとの報道がある。町のこれまでの対応は。トイレに生理用品を常備する考えは。



小中学校のトイレに常備
(奈良県大和郡山市より)

答 ①ヤングケアラーに特化した調査や正確な統計をとっていないが、『太子町児童虐待防止マニュアル』にヤングケアラーの発見にもつながる項目もあり、スクリーニングにより詳細を把握する中で、また要保護児童対策地域協議会等でその後の対応につなげていきたい。②トイレに常備するのは、管

理面や衛生面などで課題が見られるため実施していない。保健室等に生理用品を備蓄し、日常の学校生活、修学旅行などの宿泊を伴う行事や遠足や社会見学など、校外で学習する際にも携行している。

新型コロナウイルス感染症から住民の命を守れ

問 ワクチン接種は、課題も多く混乱があった。住民の命を守るためにもワクチン頼みだけではなく、①PCR検査などの検査体制の確立。②公立・公的病院再編統合計画の撤回。③保健所の機能強化を国や府に求める。④町独自で住民のくらしを応援し、命を守る施策を実施する考えは。

答 ①PCR検査は、検査の必要性を医師が判断したうえで実施すべきと考えるが、クラスターの発生が懸念される施設等では、定期的なPCR検査が有効な感染予防対策であると考えている。②医療機能ごとに医療需要と病床の必要量を推計し定めるもので、単純に病床の廃止や病院の統廃合を進めるのではない。南河内地域の医療体制のため尽力していく。③保健所の機能強化は願うところ。府と協力連携体制を構築する中で伝えていきたい。④住民の命と暮らしを守るために必要な事業には、一般財源を投じて実施すべきと考える。



動物愛護に対する太子町の取り組みについて

公明クラブ
辻本 ひろゆき 議員

問 今日、ペットは家族として、パートナーとして、仲間として暮らしに密接に関わっている。動物の虐待を防ぎ、愛護することを通じて、命を大切に作る心豊かな社会を築くとともに、動物を正しく飼い、動物による人への危害や周辺への迷惑を防止することを目的とする「動物愛護法」のもと、町として、動物愛護管理行政の現状はどのようなものか。

答 動物愛護に関しては、太子町美しいまちづくり条例7条で愛護動物の飼い主の責務を規定。愛護動物が近隣住民に危害を加え、また迷惑を及ぼすことのないよう適切に管理しなければならないとされている。

令和2年度、地域猫に対するエサやりによる生活環境被害の苦情が4件。動物所有者に対し口頭指導の実施。ボランティア団体の協力のもと、訪問指導、不妊手術を行った。

今後も、動物を適正に飼育されていないと判断した場合、動物の健康及び安全を保持し、動物が人に迷惑を及ぼすこ

とのないよう、飼養及び保管について所有者に対し、指導を行っていく。

さくら猫無料不妊手術事業の推進と猫の保護団体への支援策について

問 全国的に、犬猫の殺処分は年々減少傾向ではあるが、ゼロではない。繁殖能力の高い猫は犬の3倍近い頭数が殺処分となっている現状にある。

地域ボランティアが取り組んでいる保護猫活動を、「さくらねこ無料不妊手術事業」とともに町として、支援してはどうか。

答 公益財団法人どうぶつ基金が実施する「さくらねこ無料不妊手術事業」は、「動物の愛護及び管理に関する法律」の理念に基づき、所有者不明の猫を原因とする生活環境被害の軽減と所有者不明猫の減少を支援し、「行政による猫の殺処分ゼロ」の早期実現を目的として、平成22年度から、不妊手術を実施している。

町としても「さくらねこ無料不妊手術事業（行政枠）」の参加実現に向け、調査検証を進めてまいりたい。

要望 現在、自費で保護猫活動している方々の支援のため「さくらねこ無料不妊手術事業（行政枠）」を検討されたい。





4月28日
近鉄 上ノ太子駅
全議員で
コロナワクチン
接種の啓発



4月23日発送で65歳以上の住民さんに『新型コロナワクチン接種のお知らせ』が届けられました。

手元に届いた方から「いつから受付なのか?」「会場までどうやって行けばいいのか?」など様々な質問が届けられました。

4月28日、小雨がぱらつく生憎のお天気でしたが、お知らせの内容をお知らせし、ワクチン接種のお願いの啓発に全議員で上ノ太子駅前で、3密を避け、消毒を徹底した上で、ビラを配布しました。

用意したビラ、300枚があつという間になくなり、ワクチン接種への関心の高さがうかがえました。



4月27日
PL錬成会館
コロナワクチン
集団接種会場へ

富田林医師会の多大なるご協力のもと、富田林市・河南町・千早赤阪村・太子町の4市町村では、65歳以上の方のワクチン接種が集団接種になりました。

4月27日、ワクチン接種が始まる前にPL錬成会館の視察を行いました。住民の方が安全に接種会場まで行くことができるのか、接種会場の広さ、駐車場スペース、導線などをPL教団の担当の方にうかがいました。



6月1日
河南町議会
ペーパーレス化へ
タブレット導入



6月1日、タブレットを使って議会を開いている河南町6月議会の初日を視察しました。太子町議会でも「議会の見える化」をめざしています。コロナ禍で、オンラインで会議を開いている自治体もあり、デジタル化について調査研究中です。



7月1日
山田小学校 3年生議場見学に。議長が対応

例年、この時期に3年生の児童が、授業の一環、社会見学で太子町役場に。太子町議会の本会議場にも見学に訪れ、村井議長が議長席に座り、質問を受け付けたところ元気な手が上がりました。

議場見学の経験が、一人ひとりが主権者として政治に関わる民主主義の社会を築いていく意識を育てることにつながればうれしいです。



全員協議会

6月2日の全員協議会におきまして、陳情・要望書の取扱いについて、審議しました。採決の結果をお知らせします。

件名	斧田秀明	建石良明	西田いく子	藤井千代美	辻本ひろゆき	辻本馨	中村直幸	森田忠彦	山田強	村井浩二
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
安全・安心の医療・介護の実現と国民(府民)のいのちと健康を守るための陳情書	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
「脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高める2030年エネルギー基本計画の改定を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的支援を求める意見書(案)	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—
選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書(案)	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
国民健康保険料における子どもの均等割減免拡大と保険料引き下げを求める意見書(案)	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
公立・公的病院再編統合計画の撤回を求める意見書(案)	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
保健所の機能強化を求める意見書(案)	●	●	○	○	●	●	○	●	●	—
少人数学級の拡充を求める意見書(案)	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
市長、及び衛生(保健)担当幹部職員に対するコロナワクチンの優先接種を要望する陳情書	●	●	●	●	●	●	●	○	●	—

各議員の賛否 ○賛成 ●反対 —議長 ※賛否が同数の場合は、議長採決

村井議長
大阪府町村議長会会長・全国町村議会議長会理事に就任

本町の村井議長が、大阪府町村議長会の会長に就任し、中日本町村議長会からの推薦により全国町村議会議長会の理事に就任しました。

全国での動きについて、今後『議会だより』でもお知らせします。



挨拶をする村井議長

【編集後記】

新しくなった『議会だより』は、いかがでしょうか？まだまだ紙面改革を進めていきたいと思っていますので、ご意見・ご要望、質問などございましたら、議会事務局【98-5540】までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

次の定例会は、
9月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。

日程については、ホームページ
広報無線でお知らせします。

本会議の傍聴に来られる人へのお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴に来られる人については、次の事項を遵守の上、参加をお願いします。

○マスクの着用 ○手指消毒 ○検温 ○間隔をあけて着席

※傍聴者が多数予測される場合は、当日、事前に傍聴券を配布する場合があります。